

施策分析シート

No1

施策名		事務の適正・公正な執行		施策No		16-05		部課名		総務企画部総務企画課	
								課長名		北川 嘉昭 内線 2110	
関連部課名		総務企画部秘書課・財政課、経理部管財課・営繕課、区民生活部区民課、健康部生活衛生課、収入役室、教育委員会事務局庶務課									
行政評価事業体系		分野		区政推進							
		政策		効果的・効率的な区政の推進							
目的		区のすべての部署が「区民の幸せ」という共通の目標に向け、事務事業を円滑に実施するため、組織運営に必要とされる全庁的な事務を適正、公正に執行することにより、効率的かつ効果的な区政の実現を図る。									
指標	施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明				
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)					
	①	電子決裁化率（％）	47.50%	38.70%	—	60%	電子決裁処理数／起案総数				
	②	契約制度の見直しの進捗率	33.3%	59.1%	65.2%	100.0%	実施項目／適法化法に示された改善項目				
	③										
	④										
	⑤										
現状と課題		○ 情報システムの導入や事務の見直しなどにより、全庁的な事務をできるだけ簡素で効率的に実施するよう努めている。 ○ 不正防止委員会の設置や公益通報者保護法の施行に伴う各種要綱等の制定により、不正等が起こらない組織づくりに努めている。 ○ 一般競争入札を基本としつつ、区内事業所への発注の拡大にも十分配慮しながら、契約案件の内容に適合した様々な発注方法とそのための基準づくりが必要となっている。									
今後の方向性		○ 行政評価や事務の見直し等を通じて、事務の効率化、迅速化を一層図る。 ○ 不正を防止し、公平かつ公正に事務を執行することにより、区民から信頼される区政の実現を図る。 ○ 区内事業所への発注の拡大による区内産業の育成等を図りながら、区が行う契約の透明性や公正性を一層向上させる。									

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
C	事務の見直しやＩＴの導入により事務を簡素化するとともに、庁内のチェック体制を徹底する。

施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
特別職報酬等審議会	01-01-04	0	0	B	第三者の立場から報酬等について審議する。
公益通報者保護制度	01-01-09	0	982	C	平成18年度に制度を整備した。
文書事務費	01-01-23	70,210	72,043	C	引き続き効率性を追求して実施する。
印刷事務費	01-01-24	33,906	36,559	C	引き続き効率性を追求して実施する。
訴訟事務費	01-01-25	268	430	B	複雑・専門化している法律相談に迅速に対応する。
荒川区不正防止委員会	01-02-13	170	1,011	B	多岐に渡り議論を重ね、一定の成果を得た。
タクシー券管理	01-03-04	0	0	C	緊急時等の移動手段を確保する。
検査事務費	02-02-05	152	6,993	C	現状の規模で実施する。
入札・契約制度の見直し	02-02-06	251	9,440	C	現状の規模で実施する。
設計、工事監理事務	02-03-01	1,914	5,135	B	区施設の新設・改修に適宜対応する。
自衛隊募集事務費	03-01-09	62	57	C	法定事項
医師・薬剤師・看護師及び調理師等免許の経由事務	07-01-06	—	—	C	法定事項
出納事務	11-01-01	8,717	10,361	C	会計事務を適正かつ迅速に処理する。
用品事務	11-01-02	3,699	3,826	C	物品の適正管理を行う。
一時借入金利子	11-01-04	545	20	C	区財政収支のバランスを図る。
教育委員会委員関係事務	12-01-01	10,039	12,535	C	現状維持で実施する。
合 計		129,933	159,392		